



2013年3月11日

季節性インフルエンザワクチン ASP7374 の 第 III 相臨床試験における結果サマリーのお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：畑中 好彦）と株式会社 UMN ファーマ（本社：秋田、社長：平野 達義）が共同で開発を進めている季節性組換えインフルエンザ HA ワクチン ASP7374（旧開発コード：UMN-0502）について、第 III 相臨床試験の結果サマリーが得られましたのでお知らせします。

この臨床試験は、高齢被験者 1,060 名を対象に、ASP7374 と国内既承認孵化鶏卵ワクチンの免疫原性及び安全性を比較検討し、既承認ワクチンに対する ASP7374 の非劣性を検討することを主な目的として実施しました。その結果、ASP7374 は、国内既承認孵化鶏卵ワクチンに対し、免疫原性において非劣性基準を満たすとともに、安全性に大きな問題がないことが確認されました。

ASP7374 は、3 種類の抗原からなる季節性組換えインフルエンザ HA ワクチンで、バイオ医薬品の次世代製造プラットフォームである BEVS (Baculovirus Expression Vector System) を用いた細胞培養法で製造されています。米国では、Protein Sciences Corporation が本ワクチンについて、本年 1 月に FDA から承認を取得しております。

お問い合わせ先
アステラス製薬株式会社 広報部 TEL:03-3244-3201 FAX:03-5201-7473
株式会社 UMN ファーマ 総務部 TEL:045-624-8341 E-mail: press@umnpharma.com